

②芸術月間 - HEART OF THE ARTS 「町づくりと芸術」

イントロダクション | 町づくりと芸術

今日の聖書は人類が都市を作り始めた最初のストーリーです。町にはコミュニティ、仕事や産業、芸術、そして祈りがあります。第1に町や都市が形成されていくことの聖書的な意義について見て行きましょう。これは私たちの人生と生活、伝道にも深く関係しています。第2に、都市において行われる仕事や産業、そして芸術に関して見て行きます。これらは神が人に与えた文化命令に関係している重要な使命です。そして第3に、祈りの重要性を考えましょう。すなわち、都市とはスピリチュアルセンターであり、神による介入が必要なのです。

聖書 | 創世記 4章 17-26 節

4:17 カインはその妻を知った。彼女はみごもり、エノクを産んだ。カインは町を建てていたので、自分の子の名にちなんで、その町にエノクという名をつけた。18 エノクにはイラデが生まれた。イラデにはメフヤエルが生まれ、メフヤエルにはメトシャエルが生まれ、メトシャエルにはレメクが生まれた。19 レメクはふたりの妻をめぐらした。ひとりの名はアダ、他のひとりの名はツィラであった。20 アダはヤバルを産んだ。ヤバルは天幕に住む者、家畜を飼う者の先祖となった。21 その弟の名はユバルであった。彼は立琴と笛を巧みに奏するすべての者の先祖となった。22 ツィラもまた、トバル・カインを産んだ。彼は青銅と鉄のあらゆる用具の鍛冶屋であった。トバル・カインの妹は、ナアマであった。23 さて、レメクはその妻たちに言った。「アダとツィラよ。私の声を聞け。レメクの妻たちよ。私の言うことに耳を傾けよ。私の受けた傷のためには、ひとりの人を、私の受けた打ち傷のためには、ひとりの若者を殺した。24 カインに七倍の復讐があれば、レメクには七十七倍。」25 アダムは、さらに、その妻を知った。彼女は男の子を産み、その子をセツと名づけて言った。「カインがアベルを殺したので、彼の代わりに、神は私にもうひとりの子を授けられたから。」26 セツにもまた男の子が生まれた。彼は、その子をエノシュと名づけた。そのとき、人々は主の御名によって祈ることを始めた。

考えましょう |

- 1: (17 節) カインは町を作り始めましたが、それはどうしてでしょうか？ 神の計画やカインの生涯に照らし合わせ、都市や町を建設することにはどのような意義があるのか考えましょう。(参考 創世記 1:28, 2:15, 4:13-14)
- 2: 私たちが住んでいる都市や町にはどんなすばらしさや美しさがありますか？ また、それらをどのように尊敬すべきでしょうか？ また逆に、罪や悪をあらわしているようなことはどんなことでしょうか？ それらのことに対して、私たちは何か貢献できることがありますか？
- 3: (18-22 節) カインが建設した町ではどんなものが生み出されましたか？ それらのものは、今日どのように発展して神の栄光をあらわし、どのように問題を生じさせているのでしょうか？
- 4: ここには都市や町において、コミュニティやさまざまな産業や芸術が生み出される事例が挙げられています。私たちすべての人々が何らかの意味でこれらのことに従事しています。フランス・シェーファーの文章を読んであなたの感想や意見を分かち合しましょう。(参考 フランス・シェーファー)
- 5: (23-24 節) レメクのことばは、彼自身の人生や町や都市における働きについて、どんなことを意味していますか？ これはカインが自分の建てた町に自分の子どもの名を付けたこととどんな共通点があると思いますか？

- 6: (25-26 節) ここで強調されているのは、都市が建設されて発展していくその流れの中で「人々が主のみ名によって祈りを始めた」ことです。これは私たちにどんなことを思い起こさせますか？ また、どのようにあなたの人生や仕事やコミュニティにおいて生かすことができますか？

読みましょう |

創世記 1 章 28 節、2 章 15 節、4 章 13-14 節

- 1:28 神は彼らを祝福された。神は彼らに仰せられた。「生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ。」
- 2:15 神である主は人を取り、エデンの園に置き、そこを耕させ、またそこを守らせた。
- 4:13 カインは主に申し上げた。「私の咎は、大きすぎて、にないきれません。 14 ああ、あなたはきょう私をこの土地から追い出されたので、私はあなたの御顔から隠れ、地上をさまよい歩かさずらい人とならなければなりません。それで、私に出会う者はだれでも、私を殺すでしょう。」

フランシス・シェーファー Francis Schaeffer, *Art and the Bible*, p. 94

クリスチャン自身の人生よりも重要な芸術活動は他にありません。すべてのクリスチャンはこの意味においてアーティストだと考えるべきです。彼には作家や作曲家、歌手としての賜物はないかもしれませんが、すべての人が自分の人生を生きることに創造性の賜物を持っています。この意味で、クリスチャンの人生は芸術作品なのです。クリスチャンの人生は、失われて絶望している世界のただ中で真実なものや、また美しいものになるべきなのです。

No work of art is more important than the Christian's own life, and every Christian is cared upon to be an artist in this sense. He may have no gift of writing, no gift of composing or singing, but each man has the gift of creativity in terms of the way he lives his life. In this sense, the Christian's life is to be an art work. The Christian's life is to be a thing of truth and also a thing of beauty in the midst of a lost and despairing world. (*Art and the Bible*, p. 94)

祈りましょう |

- ・神は私たちが罪を犯して神から離れても、生きる使命と喜びとを与えてくれています。仕事に従事し、芸術を生み出し、コミュニティを築いて歩む使命と喜びを再確認して主を賛美しましょう。罪や問題があり、たくさんの解決しがたい困難にあるとしても、イエスのゆえに神に感謝をささげましょう。
- ・私たちは、神の栄光とすばらしさのためではなく、力と支配を行使して自己満足と自己実現のために、仕事をしたり芸術を生み出したりしがちです。すべてのものが神の賜物であることを思い起こし、謙虚になってイエスの名を呼んで祈りましょう。

今週～来週のイベント |

リディーマー宣教チーム (10-19)、御岳山ハイキング (12)、ランチタイムミーティング (13 丸の内&霞ヶ関、15 大手町 & 赤坂、16 神保町)、LTM 秋のヴィジョンパーティー (14)、アートフェスタ Heart of the Arts (17@浜離宮朝日小ホール)

礼拝 Worship & Fellowship (18@銀座松竹スクエア)、グレースシティゴスペル (19)、ランチタイムミーティング (21 霞が関、22 大手町)、お弁当プロジェクト (24)

礼拝 Worship & Fellowship (25@KDDI ホール)